

9月22日（水） 知事会見

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 新型コロナウイルス感染症関係
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

1 県議会9月定例会が開会

2 新型コロナウイルス感染症関係

(1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し

(2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況

3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所 の緊急点検 の状況報告

4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成

5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施

6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 **新型コロナウイルス感染症関係**
 - (1) **現在の感染警戒レベルと今後の見通し**
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

現在の感染警戒レベルと今後の見通し

- 上田市、諏訪市及び茅野市の3市にはレベル5「特別警報Ⅱ」を
発出中（～9/29）、全県もレベル4「特別警報Ⅰ」発出中

➡ 第5波の収束に向け、引き続き、感染症対策の徹底を

- 一方、県民・事業者の皆様の御協力により、感染者数は減少
傾向（直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 7.75人）

※9/15～9/21 発生届受理日ベース

➡ 全県の感染警戒レベルの取り扱いについて検討中。 専門家懇談会の意見も確認した上で、 来週早々には判断したい

第5波の収束に向け、感染防止対策の再徹底を

👉 「飛沫感染」、「エアロゾル感染」、「接触感染」を意識し、以下の基本的な感染防止対策をより厳格に行ってください。

- 屋内及び人との会話時は、マスクを正しく着用（不織布マスクを推奨）
- マスクをしていても人との距離は最低1メートルを確保
- 屋内や車内は十分に換気（屋内では30分に一回以上、数分間程度窓を全開）
- 人と同じものを触ることを避け、適切なタイミングで正しく手洗い・手指消毒

1 人との接触機会をできるだけ少なくしてください。

2 自宅等も含め、茶飲み話や普段会わない人との会食は控えてください。

3 県境をまたぐ移動（旅行、帰省、出張など）は今しばらく控えてください。

4 体調に異変を感じた場合（発熱やせき、のどの違和感や鼻水、だるさ、味覚・嗅覚の異常など）は、外出せず、速やかに医療機関に相談してください。

5 ワクチンの効果と副反応を知った上で、ワクチン接種をご検討ください。
接種がお済みの方も感染対策の徹底をお願いします。

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 **新型コロナウイルス感染症関係**
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) **ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況**
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

ワクチン接種群の感染者数（割合）は、未接種群に比べて大幅に減少

長野県内のワクチン接種回数ごとの感染者数とその割合

ワクチン接種回数	接種数 (8/3時点)	感染者数 (8/17~8/23)	割合 (感染者数/接種数)
未接種	1,166,361	809	0.069%
1回目接種のみ	168,246	45	0.027%
2回目接種	700,364	34	0.005%

**92.8%
減少**

- ※1 接種数は、県内人口（「毎月人口異動調査（2020年10月時点）」）により計算
- ※2 2回目接種後14日未満の感染者については、1回接種として集計
- ※3 感染者数には、患者・無症状病原体保有者を含む。
- ※4 感染者数の期間は、1週間当たり感染者数が過去最多（888人）となった期間

【参考】ワクチン接種群の感染者割合の減少率について(8月週別)

県内のワクチン接種回数ごとの感染者の割合

期間	未接種者の感染割合 (A)	1回目接種のみの感染割合 (B)	2回目接種の感染割合 (C)	Cに対するAの減少率
8/3~8/9	0.024%	0.013%	0.003%	87.5%
8/10~8/16	0.046%	0.013%	0.003%	93.5%
8/24~8/30	0.048%	0.034%	0.004%	91.7%

○ 感染者のうち、ワクチンを2回接種した者の感染した割合

➔ いずれの期間でも未接種者に比べて **大幅に減少**

※ 厚生労働省のまとめによれば、2回目接種者の感染した割合は未接種者に比べて91.8%減少している（第52回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 資料2-4による）

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 新型コロナウイルス感染症関係
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 **盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告**
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 新型コロナウイルス感染症関係
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 **長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成**
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

○平成30年12月 「障がい者の採用・活躍の場の拡大等に向けた取組方針」策定

取組方針の概要

① 採用・活躍の場の拡大

障がいの種別を限らない採用 等

② 職場環境の整備

障がい者活躍サポーターによる相談・支援体制 等

③ 職員の意識改革等

配属先の職員を対象とした研修 等

**障がい者の採用や活躍の場の拡大を
全庁を挙げて推進中**

全ての任命権者において法定雇用率を達成!!

「障がい者の採用・活躍の場の拡大等に向けた取組方針」の策定後、初! (※)

※昨年 (R2.6.1現在) は知事部局、議会事務局、警察本部が達成

障がい者雇用の状況 (令和3年6月1日現在)

	法定雇用率等の状況		長野県の障がい者雇用の状況			
	法定雇用率	法定雇用障害者数 (人) ※	障害者の人数 (人) ※	実人数 (人)	不足数 (人)	実雇用率
知事部局	2.6%	160	166.0 達成	132	0.0	2.69%
議会事務局	2.6%	1	1.0 達成	1	0.0	2.60%
教育委員会	2.5%	334	335.0 達成	278	0.0	2.50%
警察本部	2.6%	15	19.5 達成	17	0.0	3.25%

※・短時間勤務職員以外の重度身体障害者、重度知的障害者：1人をもって2人に相当

・短時間勤務職員で、重度以外の身体・知的・精神障害者：原則として、1人をもって0.5人に相当

○ 雇用人数が大幅に増加 (障がいのある職員の任用状況(実人数))

	R3年6月1日現在	H30年6月1日現在
知事部局等 (含 企業局)	133人	98人
教育委員会	278人	189人
警察本部	17人	12人
合計	428人	299人

3年間で
129人増

1.4倍増!

○ チャレンジ雇用職員が民間企業等に一般就労

チャレンジ雇用終了者の19人が
民間企業等に就労 (令和2年度)

【就労したチャレンジ雇用職員からの声】
毎日出勤すること、そして職場の皆さんとコミュニケーションをとることで、社会参加し、継続して勤務する力を養えることができた。

○ 相談・サポート体制の充実

11人の障がい者活躍サポーター (本庁2人・地域振興局9人) や、各所属のキーパーソン (上司等) が障がいのある職員からの相談を受け、日々の業務や職場への定着を支援

- **相談体制や働きやすい環境づくりにより職場定着を継続的に支援**
- **職員向けの研修等を充実**



誰もがいきいきと働く共生社会づくりを推進

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 新型コロナウイルス感染症関係
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 **「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施**
- 6 ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー

特殊詐欺被害の発生状況

被害額の36%を占め、最多
1件当たり約290万円

区 分	令和2年8月末		令和3年8月末	
	件数	被害額 (円)	件数	被害額 (円)
架空料金請求詐欺	27	76,792,652	22	62,764,020
オレオレ詐欺	5	15,540,000	22	52,500,000
預貯金詐欺	35	34,633,000	23	20,902,000
キャッシュカード詐欺盗	12	24,020,000	21	16,586,000
還付金詐欺	2	1,630,323	12	10,987,856
その他	5	21,350,789	3	10,562,358
合 計	86	173,966,764	103	174,302,234

年間目標である「90件以下」をすでに超過

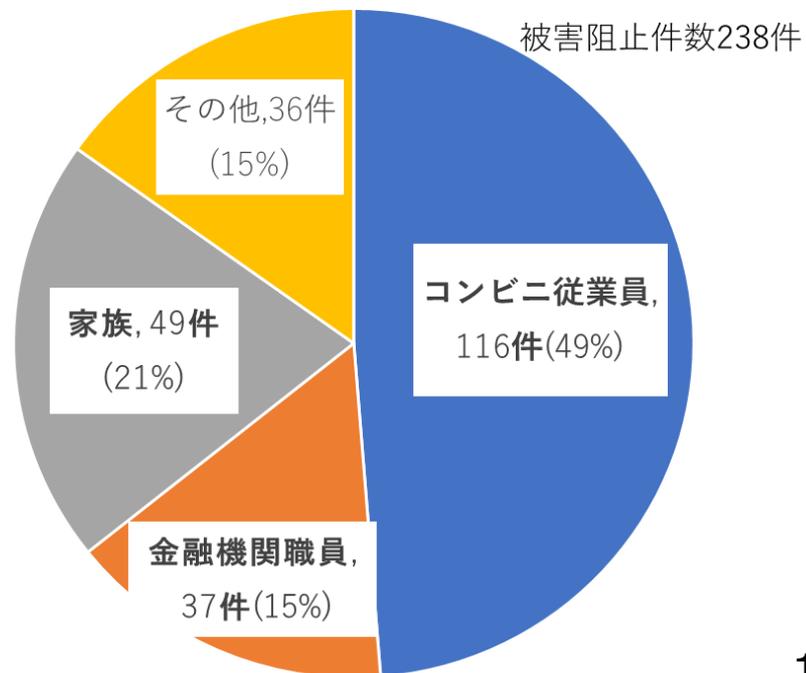
特殊詐欺被害の特徴

■被害の特徴

- 特殊詐欺のきっかけの約8割が、自宅の固定電話
- 被害者の約8割が女性
- 被害者のうち65歳以上の高齢者が8割以上
- キャッシュカード対象の被害が約5割

■特殊詐欺被害阻止の状況

- 阻止件数の半数以上は
コンビニと金融機関の職員
⇒水際対策が重要



長野県消費者被害防止対策推進会議は、初めて、 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」 を実施します

主な取組

【新】○民生児童委員と警察署員による高齢者宅の戸別訪問

- 統一チラシ、ポスターを作成し、会議構成団体を通じ配布・掲示
- 年金支給日（10/15）を中心に金融機関での声掛け
- 迷惑電話防止機能付き電話機の普及促進（長野県電機商業組合等の協力）
など

【会議の構成】 69団体

長野県市長会、長野県町村会、長野県民生委員児童委員協議会連合会、
長野県歯科医師会、長野県薬剤師会、長野県消費者団体連絡協議会、
長野県消費者の会連絡会、長野県防犯協会連合会、長野県農業共同組合
中央会、長野県経営者協会、NTT東日本長野支店、金融機関各社、信州大学、
松本大学、報道各社、日本フランチャイズチェーン協会、長野県警察本部、長野県 など

※上記に加え、9月22日現在、**9団体**が取組に参加

県民の皆様へのお願い

○ 犯人を寄せ付けないために

「携帯や財布が入ったカバンを置き忘れた」 「保険料の返金がある」 「キャッシュカードが不正に使用されている」

➤ **自宅の固定電話は留守番電話に！**

➤ **迷惑電話防止機能付き電話機の活用を！**

○ あわてない、一人で悩まない、誰かに相談しましょう

「宝くじに当選した」 「未納料金がある」 「電子マネーを買って、その番号を教えて」
など、電話やメールでお金や身に覚えのない請求の話が出たら、

➤ **家族や警察、消費生活センターに相談を！**

オール長野県で、特殊詐欺の被害から、
大切な人やご家族のくらしと財産を守りましょう。

- 1 県議会9月定例会が開会
- 2 新型コロナウイルス感染症関係
 - (1) 現在の感染警戒レベルと今後の見通し
 - (2) ワクチン接種回数ごとの感染者数の状況
- 3 盛土による土砂災害のおそれのある箇所の緊急点検の状況報告
- 4 長野県の障がい者雇用率が初めて全ての任命権者において法定雇用率を達成
- 5 「特殊詐欺被害防止共同キャンペーン」の実施
- 6 **ぶどう「クイーンルージュ®」の市場デビュー**